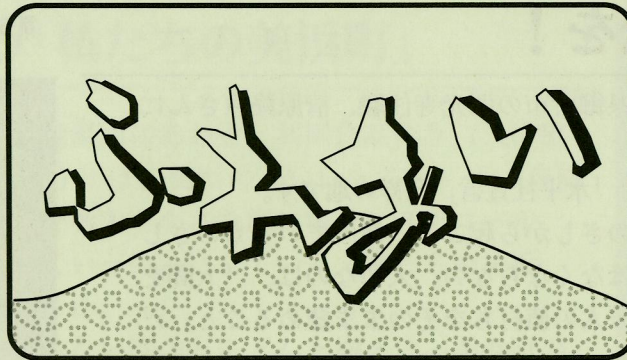


いろいろな人と人とのつながり、  
ふれあいを美浜のMと波で  
イメージしました。



美浜町人権尊重啓発協議会会報

## 第61号

発行:平成29年3月23日  
(年3回発行)

編集:人権協広報部会

連絡先:美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

# 「人権の花、咲かせよう！」～伊藤花りん&大島花子～

人権週間(12/4～10)の意義を踏まえ、12月10日(土)に、お二人のゲストをお迎えして「人権のつどい2016」を開催しました。

第1部では、サンドアートアーティストの伊藤花りんさんが、サンドアートで「Love and Peace」(人権協のためのオリジナル)などの作品を披露して下さいました。

また、公演後には、サンドアートのワークショップを開催し、来場者の方に実際に砂を触って絵を描くという貴重な体験をしていただくことができました。



伊藤花りんさん

サンドアート、生で初めて見ました。優しい気持ちになりました。ずーっと見ていたくても、サーと消えてしまう儚さが逆に心を豊かにしてくれました。

サンドアートは初めてでした。アーティストの方も人権について関心があり、それをパフォーマンスに取り入れていることに感銘を受けました。



【サンドアートパフォーマンス】  
砂絵を手でどんどん変化させて物語を描く。映し出される砂絵の物語と、パフォーマンスの動きの両方を楽しむライブイベント。

10本の指と砂と光と音楽でいろんなテーマを表現されて、本当に感動しました。この機会がないと経験できないことでした。



大島花子さん

第2部では、歌手の大島花子さんのコンサートを開催しました。

「うつくしい、命」をテーマに、大島さんの父である坂本九さんの「見上げてごらん夜の星を」のほか、童謡や絵本の読み聞かせ、手話の体験などによって、命の尊さやかけがえのない日常の輝きについて伝えて下さいました。

大島さんの優しく、愛にあふれた歌声に、多くの方が心の中に人権の花を咲かせていたのではないのでしょうか。

ギター一本で歌う大島さんの透き通る歌声に心が揺さぶられました。内容が濃く、とても楽しく過ごすことができました。坂本九さんの想いを継いでいると思います。ありがとうございました。

大島さんの透き通った声、大変ステキでした。時折、人権の話が入って素直に入ってきました。

「人権のつどい」のたびに人と人とのつながりや、人の生命の大切さを気づかされます。日々気持ちの中に人権を意識すれば、もっと幸福に感謝できるでしょう。美浜町の「人権のつどい」すばらしいです!

子どもの心をいつまでも持っていれば、本日のアートやコンサートが素晴らしいと思える。大人になれば曲がり、文句を言いたくなり、清らかな気持ちになれないで人の良さがわからないと思う。人を傷つけない人間性があればと思う。

# 人の世に熱と光を！

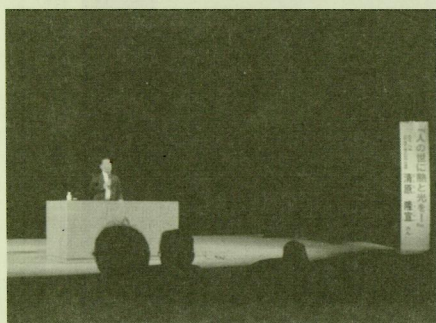
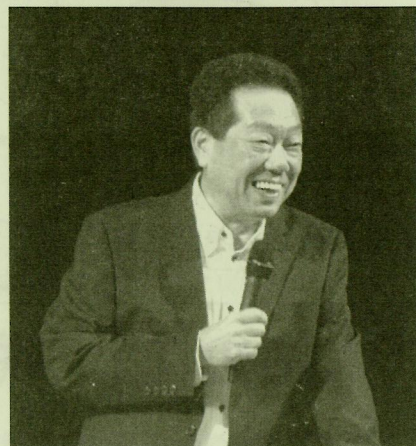
第6回町民人権講座 (11/17・なびあす)  
清原隆宣さん

「同和問題」をテーマに、奈良県御所市の西光寺住職、清原隆宣さんにご講演いただきました。

西光寺は、日本で最初の人権宣言「水平社宣言」発祥の地です。

どんな差別も世間の間違ったものさしから起こる。使っているものさしが間違っていればいつまでも差別はなくなる。大切なのは、「人間を尊敬する」ということ。それは、「人の値打ちをそのまま認めること」と教えて下さいました。

すべての人が人として平等に大切にされることを願って出された水平社宣言が、「部落民に熱と光を」ではなく、「人の世に熱あれ人間に光あれ」と締めくくられていることを改めて考えてみて下さい。



自分勝手な思い込みのものさしで人をはかることの怖さと愚かさを改めて知りました。気を付けたいです。

「周りの人がしているから」と自分の頭で考えず、流されるようなことをしてはいけない。人として一人一人が差別されず、大切にされる世の中にしていきたい。

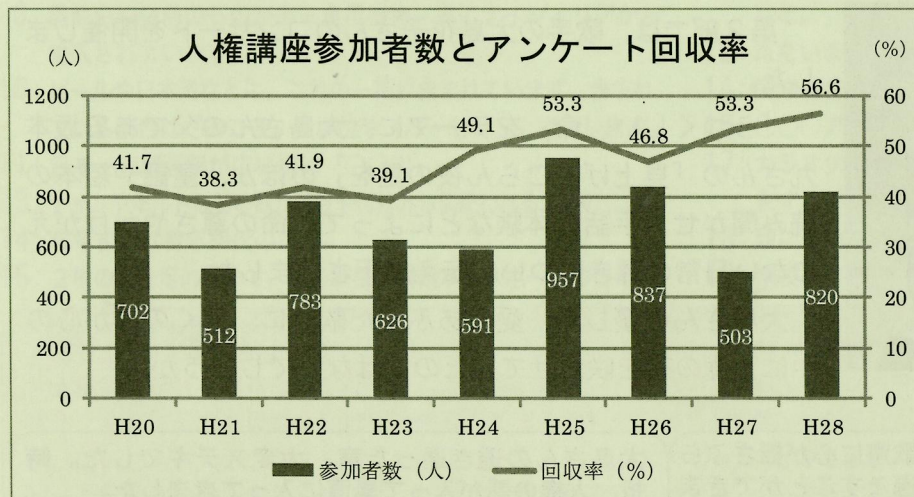
たまたま人として生まれてきた私たち、差別といじめ、なかなかなくなるのはなぜ？人と人とが尊敬しあうことの大切さ、これがすべてですよ。

差別を取り締まる法律がないこと、ハッと気づきました。インターネット上の書き込み、アメリカではトランプ氏当選を受けての人種差別、こわいです。間違ったものさしを正していきたいです。

## 町民人権講座 ～「参加者」と「アンケート回収」の分析～

人権協の作品公募・意識調査部会では、人権作品（短い手紙・絵・ポスター・写真）の公募とともに、人権に関する調査分析を行っています。

今回は、ここ最近の人権講座参加者数とアンケート回収率についてお知らせします。



【人権講座参加者数とは…】  
町民人権講座（年間6回）に参加した合計人数

【回収率とは…】  
アンケートに何らかの回答を下された方の割合  
※無回答は除いています

人権講座への参加者数は年度によって増減がありますが、講師や開催時期、天候等に左右されることもあります。それに対して、アンケートの回収率は右肩上がりであり、ここ最近では参加者の半数近くの方がアンケートに感想等を書いていることとなります。

この分析によって、町民の方々が高い意識を持って人権講座に参加していることを感じました。

## みんなでつくろう「私たちの美浜町」

12月4日から10日の人権週間にあわせ、共同作品作り（人権協コーナー）を実施しました。今年、美浜の「いいところ」や「自慢できること」、「未来の姿」を考えて小さな旗に書き、スチロールで作った美浜町の地図に刺していっぱいにしていく『私たちの美浜町』という取り組みを行いました。

はじめは少なかった旗も知らない間にどんどん増えて、美浜町の地図がみんなの旗でいっぱいになりました。

この地図のような「いいところ」いっぱい、「自慢できること」いっぱいの美浜町になるといいですね。

現在もなびあすに展示してありますので、なびあすにお越しの際には、ぜひともご覧下さい。



旗がいっぱいの美浜町

## 心あたたまる作品をありがとう

今年度も、心あたたまる人権作品（短い手紙・絵・ポスター・写真）が数多く寄せられ、人権週間（12/4～10）にあわせて、なびあすで入賞作品の展示を行いました。



展示の様子

## 人権図書PR事業

県および県内17市町の人権担当課から構成される「福井県市町人権教育・啓発連絡協議会」の共同事業として、今年度は県内の公立図書館において、人権週間（12/4～10）にあわせて、人権図書の紹介コーナーを設置しました。

美浜町でも、なびあすにある美浜町立図書館で人権図書の展示コーナーを設置しました。



なびとしよでの展示

来年度も、秋頃に人権作品の公募を開始します。たくさんの方のご応募をお待ちしております。

### 〈人権コラム〉

十二月の人権週間中に、図書館内で人権図書を集めた企画展示を行いました。そのときは大人向けの本を集めて展示していたのですが、子ども向けの絵本の中にも、実は、人権に関連するものがたくさんあります。それらを大人になって新たな目線で読んでみると、改めて、ふと気づくことが多くあります。

『どんなかんじかなあ』 中山千夏 文

和田 誠 絵

という絵本は、主人公の男の子が、「目の見えない感じって、どんな感じかなあ」とか、「耳が聞こえない感じって、どんな感じかなあ」とか、自分なりに様々な想像をしてみることが、新たな発見をしていく絵本です。男の子は、友達の立場に立つてその世界を想像してみることにより、多くの可能性に気づいていきます。短所が長所に変わり、「出来ないこと」が「出来ることの可能性」を増やしていく。そんな発見を次々としていくのです。

大人になっても、自分が相手の立場になって初めて気づくことが多々あります。前提として、心までその人になり変わるわけではないので、そういう意味では人間は決して完全には分かりあえるものではないかもしれません。でもだからこそ、「どんなかんじかなあ」とお互いに想像することが、絶対に必要なのではないのでしょうか。

この考え方は、人権を考える上でも大切だと思います。絵本は、本来子どもに伝えるために作られたものであり、堅苦しい言葉で説明するよりもずっと心の中に入ってくるものが多いので、無理に考えることなく自然と人権について考えることが出来ません。

忙しい日々を送っている大人だからこそ、あらためて絵本を手にとってみませんか。

(中)

# こえ 声 こえ

「ふれあい」第60号をお読みになった読者の方より、おたよりが寄せられましたので紹介します。

- ◆高浜町の住人です。「ふれあい」を目にする機会があり、読ませていただきました。どの町の行政も人権に対して、さまざまな方面から考える機会、手段に力を入れておられ、一町民として背中を押されました。一つでも、自分に当てはめ、吸収したいです。(Iさん)
- ◆「サヨナラの準備」興味深く読ませていただきました。いつ突然その日がやってくるかわからない。その時のため、今のうちに考えておかないといけない大切さを考えさせられました。「常に周りに感謝しながら生活すること」本当にそう思います。(Tさん)
- ◆人権コラムを読んで、いつ起きてもおかしくない災害について防災意識の感受性を高めて、落ち着いた行動をとることが大切だと再認識しました。特に、妊婦や子ども、高齢者、障がい者に対して、自分ができる行動を考えたいと思います。(Oさん)

1	5	7		12		18
2				13	16	
		8				
3	6			14		19
			11			
4		9		15	17	
		10				

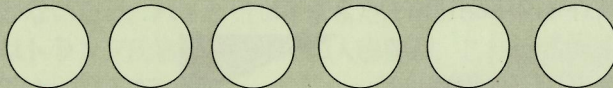
## ■応募方法■

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。  
〒919-1141 美浜町郷市29-3 美浜町生涯学習センターなびあす内 人権協事務局
- べ切は、平成29年5月31日(水)です。
- 正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りします。
- なお、前号の「人権クロスワード」の正解は、「たようせい(多様性)」でした。当選者は次の皆様でした。おめでとうございます。

田中もよ子さん (佐田) 山崎俊太郎さん (太田)  
高木 素乃さん (新庄) 竹本 祥兵さん (菅浜)  
高橋 修さん (麻生)

## 人権クロスワードパズル

二重わくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



### ヨコのカギ

- 性的であること。パイ○○○○○、ホモ○○○○○など。
- 水道の蛇口のこと。オランダ語で「鶴」を意味します。
- 眼鏡のレンズやテレホンカードに使用されている単位。  
地下水などをくみ上げるための設備。
- 作物の除草や土寄せなどに用いる農耕機械。○○○ベーターとも言います。
- 黒や白や金色のものがある食用植物。主にナイジェリアから輸入されています。
- ピールや日本酒などに、これの一種が含まれています。含まれている割合は『ヨコ3』の単位や「パーセント」で表します。
- 日本一流域面積が広い川は「○○川」。
- ナットやボルトなどの取り付けや付け外しに使われる工具のこと。
- 青年または青年時代のこと。
- 2枚の板を足に履いて、雪の斜面を滑走するスポーツのこと。

### タテのカギ

- 野球で一・二塁間を守る内野手のこと。守備番号は4。
- 地震→雷→○○→親父。
- 家財などを安全に保管するための建物のこと。
- 香りや匂いを英語で言うと。
- 雪国のものは縦型のものも多い、道路の交差点などにある装置。
- 元気付けたり応援したりすること。○○リーダー、○○ガールなど。
- ただいま外出しており、家にはおりません。
- 国際連合教育科学文化機関。世界遺産の登録などを行っています。
- アップ、○○○ステアリング、○○○ポイント
- カラオケで歌う音の高さが合わない時に上げたり下げたりします。
- 顔に付いているパーツの一つ。ソウのものは一際長い。
- 学校のこと。○○○○バス、ハイ○○○○など。

### 編集後記

人権協発足20周年の本年度もまもなく終わろうとしています。そして、次の段階に向けての出発をしようとしています。時折しも、人権に関する意識の高まりとともにヘイトスピーチ解消法や障害者差別解消法、部落差別解消推進法等が制定されました。法による規制がないと守られないというのは寂しいですが、そうしなければ、人権が侵害されるという現実があるのも事実です。長年にわたって声を上げ続けてきた成果だと思います。

前号の人権クロスワードの答えでもあり、本号と同時に発行された本年度の人権啓発冊子「ふれあい」のテーマにもな

っているのが、「多様性」です。まさに、今後の人権教育・啓発のキーワードだと思います。一人一人を大切に、互いの違いを理解し、尊重し合えるような地域社会を築いていきたいものですね。しかし、今世界や地域社会に目をやれば、それに逆行するような動きや争いごとまだまだ見られ、大変残念です。「自分だけが」ではなく、「自分も他人も」という考えで相互理解を深めていかなければなりません。

人権協が取り組むべき使命も、ますます重要になってくると思います。町民の皆様の声を大切にしながら、さらに頑張っていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

(河合)